

国際高速鉄道協会 (IHRA) 第2回全体会議の開催について

平成26年10月23日(木)、ホテルオークラ東京にて、国際高速鉄道協会 (IHRA) の第2回全体会議を開催しました。

○ 出席者

(IHRA 役員)

宿利理事長、パターソン理事長代理、西山理事兼技術検討委員、
小菅理事、吉江理事兼技術検討委員、青柳理事、劉理事、
日笠監事、辻本監事

(上席顧問委員会、以下 SAB: Senior Advisory Board)

葛西委員長、ハウエル委員、石原委員、ナイ委員、シーファー委員、
シン委員、富田委員、ハミド委員 (オブザーバー)

(技術検討委員会、以下 TAB: Technical Advisory Board)

森村委員長、ジャック委員、小林委員、ケルターボーン委員、テイラー委員、
アジズ委員 (オブザーバー)、チュア委員 (オブザーバー)、

○ 内容

全体会議では、前日に行われた国際会議を受け、今後 IHRA が推進していくべき活動内容について活発な議論がなされました。

日本型高速鉄道システムの優位性を **Crash Avoidance** の原則を含めてトータル・システムとしてアピールすべきとの意見や、この原則を維持しながら各国の様々な事情、背景に合わせた、柔軟な情報発信が必要との意見がありました。また、駅開発、地域開発の実例、環境性能、各国の高速鉄道計画に対するファイナンススキームや人材育成などを含めた包括的な提案が必要であるとの意見が示されるなど、大変有意義な議論が行われました。

IHRAとしてこれらの貴重な助言を踏まえ、今後の活動を進めていくことを確認しました。

IHRA 第2回全体会議 (H26.10.23)

○ 全体会議の様子 (写真)

